

日本農業気象学会 2015 年度総会 議事要旨

日 時: 2015 年 3 月 18 日(水)13:30～15:30

場 所: 文部科学省研究交流センター (茨城県つくば市竹園 2-20-5)

会長挨拶 大政謙次会長

大会委員長挨拶 青木正敏会員

議長に皆川秀夫東北支部長を選出

1. 2014 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

- 1.1.1 役員等の交代 → 荊木総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.2 会員数の動向 → 荊木総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.3 研究集会・会議等の開催 → 荊木総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.4 各種事業の推進 → 荊木総務理事より総会資料 2 ページに基づき報告された。
- 1.1.5 編集委員会活動報告 → 荊木総務理事より総会資料 3 ページに基づき報告された。
- 1.1.6 今年度の学会賞の選考経過 → 荊木総務理事より総会資料 4 ページに基づき報告された。
- 1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過 → 荊木総務理事より総会資料 5 ページに基づき報告された。
- 1.1.8 特別委員会等の設置および活動 → 荊木総務理事より総会資料 5 ページに基づき報告された。
- 1.1.9 支部活動報告 → 荊木総務理事より総会資料 6 ページに基づき報告された。
- 1.1.10 研究部会活動報告 → 荊木総務理事より総会資料 7 ページに基づき報告された。

1.2 規定の改正

- 1.2.1 永年功労会員表彰規定 → 荊木総務理事より総会資料 8 ページに基づき報告された。
- 1.2.2 「生物と気象」投稿規定 → 荊木総務理事より総会資料 9 ページに基づき報告された。

2. 審議事項

2.1 2014 年度一般会計決算報告(案)

→ 社会計理事より総会資料 10 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.2 会計監査報告(案)

→ 杉浦会計監査より総会資料 11 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.3 2014 年度剰余金処分(案)

→ 社会計理事より総会資料 12 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.4 2015-2016 年度役員選出(案)

→ 荊木総務理事より総会資料 13 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.5 2015 年度事業計画(案)

→ 荊木総務理事より総会資料 14～16 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

2.6 2015 年度一般会計予算(案)

→ 社会計理事より総会資料 17 ページに基づいて提案され、原案通り承認された。

議長解任

日本農業気象学会 2015 年度 総会資料

日時：2015 年 3 月 18 日（水）13:30～15:30

場所：文部科学省研究交流センター

茨城県つくば市竹園 2-20-5

日本農業気象学会 2015 年度総会 議事次第

開 会

会長挨拶

大会委員長挨拶

議長選出

1. 2014 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代	2
1.1.2 会員数の動向	2
1.1.3 研究集会・会議等の開催	2
1.1.4 各種事業の推進	2
1.1.5 編集委員会活動報告	3
1.1.6 今年度の学会賞の選考経過	4
1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過	5
1.1.8 特別委員会等の設置および活動	5
1.1.9 支部活動報告	6
1.1.10 研究部会活動報告	7
1.2 規程の改正	
1.2.1 永年功労会員表彰規程	8
1.2.2 「生物と気象」投稿規程	9

2. 審議事項

2.1 2014 年度一般会計決算報告（案）	10
2.2 会計監査報告（案）	11
— 2014 年度一般会計決算報告（案）・会計監査報告（案）の承認 —	
2.3 2014 年度剰余金処分（案）	12
— 2014 年度剰余金処分（案）の承認 —	
2.4 2015-2016 年度役員等選出（案）	13
2.5 2015 年度事業計画（案）	14
— 2015 年度事業計画（案）の承認 —	
2.6 2015 年度一般会計予算（案）	17
— 2015 年度一般会計予算（案）の承認 —	

議長解任

3. 2014 年度各賞の授与式

学術賞，普及賞，貢献賞，奨励賞，論文賞，永年功労会員表彰 学会

賞受賞記念講演

閉 会

1. 2014 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員会委員長に互選で鮫島良次会員が就任
- 2) 会長指名理事に以下の方を選出
北野雅治会員（支部活性化担当）、北宅善昭会員（支部活性化担当）、小南靖弘会員（副編集委員長）

1.1.2 会員数の動向（2015 年 1 月 15 日現在）

正会員	412 (内外国 4)	(-5)
シルバー会員	25	(-5)
学生・ポスドク会員	56(内外国 1)	(-5)
購読会員	74 (内外国 0)	(-5)
賛助会員	21	(0)
名誉会員	7	(+2)
海外特別会員	72	(0)
合計	667	(- 18)

() 内は、2014 年 1 月 15 日時点と比較した増減数

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2014 年全国大会：2014 年 3 月 17 日～21 日に北海道大学（札幌市）で開催
- 2) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2014：2014 年 3 月 17 日～21 日に北海道大学（札幌市）で開催
- 3) 2013 年度評議員会：2014 年 3 月 19 日に北海道大学（札幌市）で開催
- 4) 2014 年度総会：2014 年 3 月 19 日に北海道大学（札幌市）で開催
- 5) 2014 年度理事会：2014 年 3 月 20 日に北海道大学（札幌市）、6 月 14 日に東京大学農学部、9 月 6 日に東京大学農学部、12 月 13 日に東京大学農学部で開催
- 6) 温暖化フォーラム：オーガナイズドセッション「ワイン産地としての北海道空知地域の将来展望」 2014 年 3 月 20 日に北海道大学（札幌市）で開催（共催）

1.1.4 各種事業の推進

- 1) 学会活動の活性化
 - (1) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等の実施（農業気象学会メール広報）
 - (2) ホームページを通じて積極的に情報提供を行った
- 2) 学会誌等の出版
 - (1) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」：第 70 巻 1 号～第 70 巻 4 号
 - (2) 学術誌「生物と気象」：第 14 巻（<http://www.agrmet.jp/sk/2014/sk14.html>）
- 3) 日本農業気象学会賞の審査
- 4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 5) 日本農業工学会フェローに大場和彦会員を推薦、日本農業工学会創立 30 周年記念功績賞に蔵田憲次

会員を推薦

- 6) 支部大会等の推進（別表「支部活動報告」の通り）
- 7) 「研究部会」、「若手研究者の会」等の推進（別表「研究部会活動報告」の通り）
- 8) 日本農学会、日本農業工学会、農業環境工学系学会連盟、日本地球惑星科学連合の活動を推進、日本学術会議関連の活動に協力、学術会議ニュースの理事への配信
- (1) 関連学協会委員
日本農学会 大政 謙次（評議員）、横山 仁（運営委員）
日本農業工学会 真木 太一（名誉顧問）、荊木 康臣（理事）、細井 文樹（正会員代議員）、
星 岳彦（国際会員代議員）
農業環境工学系学会連盟 大政 謙次、小林 和彦（委員）、岡田 益己（代表幹事）
日本地球惑星科学連合 大政 謙次（学会長会議員）、石郷岡康史（窓口委員・プログラム委員）
地理関連学会連合 山川 修治（オブザーバー）
- 9) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
 - (1) 日本学術会議公開シンポジウム「都市農業の再構築における養液栽培と施設園芸の役割」（2014年1月20日、日本学術会議講堂）を共催
 - (2) 「国際農業工学会（CIGR）の動向と我が国の学術国際化のあり方」に関する円卓会議（2014年5月12日、日本学術会議会議室）を共催
 - (3) 日本学術会議公開シンポジウム「人工降雨による渇水・豪雨軽減と水資源」（2014年6月26日、日本学術会議講堂）を後援
 - (4) 日本学術会議公開シンポジウム公開シンポジウム『太陽光植物工場の高精度環境調節を可能にする植物生体情報計測』（2014年3月18日、日本学術会議講堂）を後援
 - (5) Plant Factory Conference 2014（2014年11月10日～12日、京都大学百周年記念時計台記念館）を後援
 - (6) 2014生態工学会年次大会（2014年6月27日～28日、プラザヴェルデ）を協賛
 - (7) 日本流体力学会 年会 2014（2014年9月15日～17日、東北大学）を協賛
 - (8) 施設園芸・植物工場展 2014（GPEC）（2014年7月23日～7月25日、東京ビッグサイト）を協賛
 - (9) 第23回風工学シンポジウム（2014年12月3日～12月5日、東京大学山上会館）を協賛
 - (10) アグロ・イノベーション 2014（2014年11月12日～14日、東京ビッグサイト）を協賛
 - (11) 農業電化シンポジウム「農林水産業における生物の光応答メカニズムの解明と省エネルギー、コスト削減技術の開発」（2014年10月3日、東京大学弥生講堂）を協賛
 - (12) 2014年第7回生態工学会定例シンポジウム「再生可能エネルギーの現状と課題」（2014年11月7日、東京工業大学）を協賛
- 10) 各種賞について会員へ推薦依頼、各種公募研究の案内
 - (1) 日本農学賞等の受賞候補者の推薦者募集（2014年度は日本農学賞に推薦者無し）
- 11) 2014年全国大会の企画
- 12) その他、本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

1) 編集委員会の開催

第1回 2014年3月18日、北海道大学 学術交流会館 D会場

第2回 2014年6月7日、電力中央研究所 大手町本部第4会議室

第3回 2014年8月30日、電力中央研究所 大手町本部第4会議室

第4回 2014年11月29日、電力中央研究所 大手町本部第4会議室

2) 「Journal of Agricultural Meteorology」, 「生物と気象」の発行

「Journal of Agricultural Meteorology」70巻1〜4号(冊子体, J-STAGEにて公開)

研究論文17編(-2), 短報2編(-3), 資料0編(-2)

「生物と気象」14巻(電子ジャーナルとしてJ-STAGEにて公開)

研究論文6編(+6), 短報0編(-1), 資料0編(0), 総説0編(-2), 記事15編(+3)(講座1編(+1)を含む)

* 括弧内は 2013 年度と比較した増減数.

3) その他

(1) 「Journal of Agricultural Meteorology」71巻1号より, 冊子の判型を A4に変更することとした.

(2) 「Journal of Agricultural Meteorology」 「生物と気象」の掲載料金を 2015 年 6 月 1 日付けの投稿受付原稿より改定することとした.

(3) 主にオンライン審査との適合性, 文章の曖昧な部分の明確化, 可読性の向上のため, 「生物と気象」の投稿規定と和文論文原稿作成要領の改定を実施した(1.2.2 参照).

1.1.6 今年度の学会賞の選考経過

2014 年 9 月 5 日締め切りで, 2014 年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を公募し, 正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査した. 2014 年 12 月 7 日付で, 鮫島良次学会賞審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2014 年 12 月 26 日に下記の会員および団体の受賞が決定した。

学術賞：飯泉仁之直 会員「作物収量に対する気候変動の影響の広域予測に関する研究」学

術賞：荊木康臣 会員「画像解析を利用した植物生体情報および生育環境の非破壊評価」普

及賞：山本晴彦 会員「光応用による植物の診断と制御に関する研究とその普及」

貢献賞：日本農業気象学会北海道支部「北海道の気象と農業」の刊行を通じた日本農業気象学会の発展への貢献

奨励賞：藤井愛子 会員「Testing the performance of a thermal-based crop coefficient technique in Idaho as a fundamental study for global ET estimation (温度に基づく作物係数法のパフォーマンスのアイダホにおける評価ー全球蒸発散評価のための基礎研究ー)」

論文賞：Shinichi Takami, Tetsuo Sakuratani and Takeshi Horie (著)「Environmental and genotypic effects on stomatal control of evapotranspiration from irrigated rice」

J. Agric. Meteorol., Vol 69, No.3, 2013.

論文賞：Keiichi Sato and Yoshitaka Kurose (著)「Analysis of normalized daily change of air temperature using an S-shaped function to detect fog occurrence」

J. Agric. Meteorol., Vol 69, No.3, 2013.

論文賞：Toshichika Iizumi, Gen Sakurai and Masayuki Yokozawa (著)「An ensemble approach to the representation of subgrid-scale heterogeneity of crop phenology and yield in coarse-resolution large-area crop models」

J. Agric. Meteorol., Vol 69, No.4, 2013.

1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過

2014 年 7 月 19 日、各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2014 年 9 月 12 日の締め切りで各支部から推薦のあった候補者を永年功労会員表彰審査委員会に審査を依頼した。2014 年 9 月 29 日付で、菅野洋光永年功労会員表彰審査委員長から審査結果が報告され、支部長、評議員および理事の投票により、2014 年 12 月 26 日に下記の会員の受賞が決定した。

関東支部推薦： 本條 均 会員

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：富士原和宏理事）

学会賞受賞候補者の被推薦・被選考の有効期間、国際的に活躍する若手会員の表彰、フェローの称号の設置、およびフェロー表彰規程文案について検討を行い、それぞれ委員会案を理事会に報告した。また、委員を一名追加した。

2) 出版委員会（委員長：宮田 明理事）

農業気象の測器と測定法に関する新規出版物について、「生物と気象」の記事（講座）や関連する出版構想との関係を含めて検討を進めた。

3) 国際連携委員会（委員長：小林和彦副会長）

世界気象機関（WMO）の専門委員会の 1 つである農業気象委員会（CAgM）主催の国際会議（2014.4, トルコ・アンタルヤ）に出席し、日本農業気象学会の活動を紹介するとともに、Global Federation of Agro-Meteorology Societies（GFAMS）の結成に向けた討議に参加した。また、CAgM への農業気象分野専門家の推薦に関して、日本の CAgM メンバーである気象庁へ助言を行った。

1.1.9 支部活動報告

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員（2014年1月15日現在）
北海道支部 支部長：谷 宏	〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘 1 北海道農業研究センター 井 上 聡 ino@affrc.go.jp Tel: 011-857-9266	・北海道支部大会（研究発表 21 題、シンポジウム 「近年の気象変動と農業気象」、総会）：札幌市北 農ビル、12 月 5 日 ・「北海道の農業気象」第 66 号発行	正会員：40 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：10 合計：56
東北支部 支部長：皆川秀夫	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 東北農業研究センター 川方 俊和 kawakata@affrc.go.jp Tel: 019-643-3594	・東北支部大会（研究発表 6 題、シンポジウム震災 からの復興と研究、総会）：郡山市商工会議所 2F 会議室(福島県郡山市中町 1-6)、2014 年 11 月 29 日 ・「東北の農業気象」第 59 号発行予定	正会員：38 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：2 購読会員：8 合計：50
関東支部 支部長：青木正敏	〒305-8666 つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 丸山 篤志 maruyama@affrc.go.jp Tel: 029-838-8946	・支部例会（研究発表 3 件、シンポジウム「地球シ ミュレータを用いた環境変動予測とその動向 ― 農業気象研究への応用―」、総会）：2014 年 11 月 28 日・海洋研究開発機構（JAMSTEC）横浜研 究所、参加者 43 名 ・「関東の農業気象」第 40 号発行	正会員：172 シルバー会員：8 学生・ポスドク会員：30 購読・賛助会員：40 合計：250
北陸支部 支部長：関 平和	〒921-8836 野々市市末松 1-308 石川県立大学生物資源環境学部 皆巳幸也 yumin@ishikawa-pu.ac.jp Tel: 076-227-7476	・支部大会（研究発表 6 件、講演会、総会）：2014 年 11 月 29 日、石川県女性センター、参加者 22 名 ・「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 39 号発行	正会員：12 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：1 購読会員：5 合計：19
東海支部 支部長：田中逸夫	〒438-0803 磐田市富丘 678-1 静岡県農林技術研究所 経営生産シ ステム科 大須賀隆司 ryuji1_ohsuka@pref.shizuoka.lg.jp Tel: 0538-36-1551	・支部大会（研究発表、シンポジウム、総会）：2014 年12月6日岐阜県岐阜市じゅうろくプラザにて開 催。参加者15名 ・「東海支部会誌」第72号発行予定	正会員：36 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：5 購読会員：5 合計：48
近畿支部 支部長：北宅善昭	〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学生命環境科学研究科 青野靖之 aono@envi.osakafu-u.ac.jp Tel: 072-254-9431	・支部大会：2014年11月29日、大阪府立大学 i-site なんば（大阪市浪速区：参加者 39 名、一般講演 10 件、シンポジウム「気候変動とその生態系や私 達の暮らしへの影響を考える(1)」を生態工学会 関西支部と共催） ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」、第 7 号	正会員：41 シルバー会員：7 学生・ポスドク会員：8 購読・賛助会員：9 合計：65
中国・四国支部 支部長：山本晴彦	〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部生物資源環境科学 科 山本晴彦 yamaharu@yamaguchi- u.ac.jp Tel: 083-933-5833	・支部大会（研究発表 29 件、特別講演、総会）：2014 年 12 月 4 日～5 日、山口大学大学会館 ・「中国・四国の農業気象」第 27 号発行	正会員：41 シルバー会員：4 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：7 合計：57
九州支部 支部長：北野雅治	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学農学研究院環境農 学部 脇水健次 wakimizu@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-642-3095	・支部大会（研究発表、シンポジウム、総会）：2014 年 11 月、熊本県合志市（九州沖縄農業研究セン ター） ・「九州の農業気象第Ⅱ輯」第 23 号発行	正会員：33 シルバー会員：5 学生・ポスドク会員：3 購読・賛助会員：16 合計：57

1.1.10 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	日本農業気象学会関東支部 2014 年度例会を共催し、一般講演、シンポジウム（地球シミュレータを用いた環境変動予測とその動向）の企画と準備、例会当日の対応を行った。
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	日本農業気象学会 2014 年全国大会においてオーガナイズドセッション「園芸工学研究における LED 利用」を開催
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 情報利用研究領域 大野宏之 Tel: 029-838-8946, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	日本農業気象学会 2014 年全国大会にて研究会を開催し、当該年度における農業気象災害のレビューと、農業気象災害の対応策を実施するためのリーディングタイムについての議論を行った。
若手研究者の会	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	・日本農業気象学会2014年全国大会において、若手研究者向けの研究交流会を開催 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動

1.2 規程の改正

1.2.1 永年功労会員表彰規程

旧規程	新規程
永年功労会員表彰規程 1. 会則第 1 章第 4 条 2, 第 2 章第 5 条(5)に基づき本規程を設ける。 2. この表彰は本学会の発展に永年貢献した会員を対象とする。 3. 被表彰者には日本農業気象学会フェローの称号を授与し表彰状及び記念品を贈る。 4. 被表彰者の選考は次の手続きによる。 (1) 支部長は会員期間が原則として 30 年以上で、年齢満 65 歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。 (2) 支部長から推薦されなかった会員で、被表彰者に該当する会員については、総務理事が会長に推薦する。 (3) 永年功労会員表彰候補者を審査するため、審査委員会を設ける。 (4) 審査委員会は候補者の審査結果を会長に報告する。 (5) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって被表彰者を決定する。 5. 総会で表彰式を行う。 (付則) 本規程は 2013 年度から適用する。	永年功労会員表彰規程 1. 会則第 1 章第 4 条 2, 第 2 章第 5 条(5)に基づき本規程を設ける。 2. この表彰は本学会の発展に永年貢献した<u>会員もしくは元会員</u>を対象とする。 3. 被表彰者には<u>表彰状及び記念品を贈る。</u> 4. <u>被表彰者が会員の場合は、日本農業気象学会フェローの称号を授与する。</u> 5. 被表彰者の選考は次の手続きによる。 (1) 支部長は会員期間が原則として 30 年以上で、年齢満 65 歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。 (2) 支部長から推薦されなかった<u>会員もしくは元会員で、該当者がいる場合には</u>、総務理事が会長に推薦する。 (3) 永年功労会員表彰候補者を審査するため、審査委員会を設ける。 (4) 審査委員会は候補者の審査結果を会長に報告する。 (5) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって被表彰者を決定する。 6. 総会で表彰式を行う。 (付則) 本規程は <u>2015 年度</u>から適用する。

1.2.2 「生物と気象」の投稿規程および和文論文原稿作成要領

「生物と気象」投稿規程の改訂概要（理事会承認日・発効日：2014 年 3 月 18 日）

項目	旧規程	新規程	条項
原稿提出（原著論文、総説、論説・資料・討論）	提出方法として、1) 編集部メールで提出と 2) 編集部へ郵送で提出の 2 種類が記載。	提出方法は、電子ファイルのメールによる提出のみと変更。	8.1
発効日	2013 年 1 月 28 日	2014 年 3 月 18 日	9

* 上記の変更以外に、可読性の向上のために文章を見直し、語句等の修正を行った。

「生物と気象」和文論文原稿作成要領の改訂概要（理事会承認日・発効日：2014 年 3 月 18 日）

項目	旧要領	新要領	条項
引用文献	(1) 欧文雑誌名は「List of serial title word abbreviations. ISDS International Centre, Paris, France, 1991」で定められた方法（ISO-4）にしたがって省略形で書く。 (2) なし。	(1) 雑誌名は省略せずに正式名称を記す。 (2) 学会予稿集等の引用文献の書き方を例示。	3.1
原稿提出	論文原稿の提出方法の詳細が記載。	「投稿規定を参照すること」と記述を省略。	4
発効日	2013 年 6 月 1 日	2014 年 3 月 18 日	9

* 上記の変更以外に、可読性の向上のために文章を見直し、語句等の修正を行った。

2・審議事項

2.1 2014年度一般会計決算報告

2014年度一般会計決算（案）

1・収入

科目	予算	決算	備考
学会費	5,321,000	5,038,500	(延べ人数)
正会員	3,604,000	3,405,500	¥8,500(399名)
シルバー会員	155,000	131,500	¥5,000(27名)
学生・ポストドク会員	260,000	231,500	¥4,000(58名)
購読会員	672,000	640,000	¥8,000(80件)
賛助会員	630,000	630,000	¥30,000(21件)
売上金	1,310,000	2,215,014	
養賢堂(含む書店)	300,000	285,600	
掲載料・別刷・超過頁等	1,000,000	1,916,414	
バックナンバー	10,000	13,000	
雑益費	95,000	456,697	
利息	10,000	3,604	
複写権料等	85,000	52,909	複写権料他
その他	0	400,184	
前年度繰越金	2,101,774	2,101,774	
単年度合計	6,726,000	7,710,211	
合計	8,827,774	9,811,985	

・Journal of Agricultural Meteorologyのカラー代金と超過頁にて増収 ・学会賞費は、過去の支払が未精算が残っていた
--

単年度収入合計	7,710,211
単年度支出合計	7,361,895
単年度収支差異	348,316
剰余金	2,450,090

前年度繰越¥2,101,774 単年度収差¥348,316

資産の部	現金	会計理事預り分	44,017
	〃	庶務理事預り分	55,080
	普通預金	三井住友	127,148
	〃	みずほ	10,423,757
	振替貯金	ゆうちょ	5,313,643
	定期預金	三井住友	9,250,000
	資産の部計		25,213,645

資産の部合計 25,213,645

2・支出

科目	予算	決算	備考
学会誌発行業務	4,974,000	4,246,909	
印刷・製本・別刷り費	2,500,000	2,243,217	Journal of Agricultural Meteorology Vol.70(1)~(4)
発送費	250,000	203,100	
編集費	850,000	734,816	(養賢堂分含)
編集委員会	500,000	327,240	委員旅費、査読者謝礼
電子ジャーナル	0	30,000	J-stage分担金
組み版・レイアウト	704,000	534,528	生物と気象
編集費	170,000	174,008	(養賢堂)
総大会費	600,000	600,000	
大会運営費	400,000	400,000	2015年全国大会
合同大会分担金	200,000	200,000	合同大会(盛岡)
学会賞費	50,000	260,874	賞牌作成費、受賞者懇親会費(2011・2012年度含む)
名誉会員表彰	150,000	80,000	交通費・懇親会費など
会計業務委託費	1,232,000	1,179,887	
会員業務	500,000	478,408	会員管理@560*760、発送等手数料
会計業務	252,000	257,400	会計業務(月額@20000*12)他
受付業務	180,000	193,050	(窓口業務(月額@15000*12)
その他業務	300,000	251,029	議事録、選挙関連等その他委託業務
ホームページ運営費	70,000	70,784	レンタルサーバー管理代等
理事会開催費	500,000	299,469	理事会旅費等
庶務理事経費	55,000	0	
会計理事経費	60,000	63,322	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	400,000	359,800	@700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	50,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	0	
園芸工学研究部会	0	0	
農業気象リスクマネジメント研究会	0	0	
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	0	10万円×1名
関連団体分担金	157,000	150,850	
日本地球惑星科学連合	10,000	10,000	
日本農学会費	80,000	67,850	
日本農業工学会費	67,000	73,000	
単年度支出	8,248,000	7,361,895	
予備費	429,774	0	
合計	8,827,774	7,361,895	

負債の部	未払金	養賢堂へ	2,163,555
	未払金	理事会経費	0
	未払金	会計理事経費	0
	未払金	編集理事経費	0
	負債の部計		2,163,555

財産の部	学会基金	11,300,000
	事業準備金	9,300,000
	剰余金	2,450,090
	財産の部計	23,050,090

負債・財産合計 25,213,645

2.2 会計監査報告

平成 27 年 3 月 6 日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 大政謙次 殿

日本農業気象学会
会計監査 彦坂晶子
杉浦俊彦

日本農業気象学会 2014 年度(2014 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日)予算の執行に関し、細井文樹会計理事、杜明遠会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

会計監査におけるコメント

1. 一昨年度は単年度赤字であったが、今年度は超過ページの増加等により黒字となった。これは毎年継続するものではなく、次年度以降、投稿料値上げによる影響もあることから、収入について引き続き注視されたい。
2. 会員数の減少が続いていることから、今後も会員数の増加を図るとともに、未納年度の周知徹底と会費の回収方策について、引続き理事会や各委員会、支部などで検討していただきたい。特に、大会会場での会費の納付が可能であること、年度開始が 1 月であることを、繰り返し会員へ周知されたい。

2.3 2014年度剰余金処分（案）

2014年度剰余金処分(案)

- (1) 2014年度剰余金は、2,450,090円となった。
- (2) 2014年度の一般会計から事業準備金へ1,000,000円を支出する。
- (3) この結果、学会基金は11,300,000円、事業準備金は10,300,000円、一般会計繰越1,450,090円となる。

2015年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	10,300,000	
	21,600,000	

2014年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	9,300,000	
	20,600,000	

2.4 2015-2016 年度役員等選出（案）

1) 次期役員等名簿（敬称略）

会長 大政謙次

副会長 小沢 聖，北野雅治

支部長 北海道：谷 宏，東北：皆川秀夫，関東：宮田 明，北陸：関 平和，東海：鈴木克己，
近畿：北宅善昭，中・四国：大上博基，九州：大場和彦

理事（支部選出） 北海道：廣田知良，東北：庄野浩資，関東：富士原和宏，小林和彦，鳥谷 均，
北陸支部：皆已幸也，東海：谷 晃，近畿：町村 尚，中・四国：荊木康臣，
九州：脇山恭行

理事（会長指名〔一部予定を含む〕） 松岡延浩（総務正），平野 高司（編集委員長），
小南靖弘（副編集委員長，生物と気象担当），沖 一雄（編集-論文審査），
米村正一郎（編集-論文審査），間野正美（編集-出版正），清水 庸（編集-出版副），
細井文樹（会計正），彦坂晶子（会計副），石郷岡康史（庶務正），酒井英光（庶務副），北
宅善昭（支部活性化）

評議員 北海道：鮫島良次，平藤雅之，東北：小峰正史，横山克至，関東：大野宏之，奥島里美，桑
形恒男，佐瀬 勘紀，中川博視，西森基貴，長谷川利拡，吉本真由美，北陸：横山宏太郎，
東海支部：大須賀隆司，嶋津光鑑，近畿：青野靖之，星 岳彦，中・四国：黒瀬義孝，三浦健志，
九州：後藤慎吉，竹下伸一

監査 横山 仁，杉浦俊彦

学会賞審査委員会 大上博基，岡田益己，菅野洋光，北宅善昭，後藤英司，小林和彦，佐瀬勘紀，
廣田知良，星 岳彦，本條 毅，松岡延浩，宮田 明

永年功労会員表彰審査委員会 濱寄孝弘，岡田益己，青木正敏，今 久，清野 裕，細野達夫，田中逸夫，
谷 誠，森 牧人，大場和彦

編集委員会 平野高司，小南靖弘，沖 一雄，米村正一郎，間野正美，清水 庸，石川大太郎，岩田 徹，
植山秀紀，植山雅仁，遠藤良輔，小野圭介，加藤悦史，神田英司，熊谷悦史，小森大輔，
櫻井 玄，下野裕之，杉浦裕義，武田知己，古野伸典，増富祐司，松浦庄司，安武大輔

2) 顧問

清野 裕会員、蔵田 憲次会員、岡田 益己会員に委嘱する。

2.5 2015年度事業計画（案）

1) 学会活動の活性化

- (1) 会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
- (2) 広報活動の促進のための方策の検討および実施
- (3) 学術誌の今後の方向性に関する検討
- 2) 2015年全国大会の開催：2015年3月16日～20日に文部科学省研究交流センター（つくば市）で開催
- 3) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2015：2014年3月16日～20日に文部科学省研究交流センター（つくば市）で開催
- 4) 2015年度総会の開催：2015年3月18日に文部科学省研究交流センター（つくば市）で開催
- 5) 2014年度評議員会の開催：2015年3月17日に文部科学省研究交流センター（つくば市）で開催
- 6) 2015年度理事会の開催：東京大学農学部，他
- 7) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」の発行（第71巻1号～第71巻4号）
- 8) 学術誌「生物と気象」の発行，第15巻（ホームページ上で公開）
- 9) 日本農業気象学会賞の審査および授与
- 10) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 11) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 12) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
- 13) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
- 14) 特別委員会の開催
- 15) 温暖化フォーラム，エネルギーフォーラムの開催
- 16) 日本農学会の活動を推進
- 17) 日本農業工学会の活動を推進
- 18) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
- 19) 日本学術会議関連の活動に協力
- 20) 日本地球惑星科学連合の活動を推進
- 21) 地理関連学会連合の活動に協力
- 22) 地球観測タスクフォースコミュニティへの参加
- 23) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- 24) 受託研究の受け入れ
- 25) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流，国際連携の推進
- 26) 法人化の可能性の検討
- 27) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員（2015年1月15日現在）
北海道支部 支部長：谷 宏	〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘 1 北海道農業研究センター 井上聡 ino@affrc.go.jp Tel: 011-857-9266	・北海道支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地，日時は未定 ・「北海道の農業気象」第 67 号発行予定	正会員：42 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：6 購読・賛助会員：9 合計：58
東北支部 支部長：皆川秀夫	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平 4 東北農業研究センター 川方 俊和 kawakata@affrc.go.jp Tel: 019-643-3594	・東北支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地は秋田県を予定，日時は未定 ・「東北の農業気象」発行予定	正会員：38 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：2 購読会員：8 合計：50
関東支部 支部長：宮田 明	〒305-8666 つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 丸山 篤志 maruyama@affrc.go.jp Tel: 029-838-8946	・支部例会（研究発表，シンポジウム，総会）：日時・場所未定 ・「関東の農業気象」第 41 号発行予定	正会員：166 シルバー会員：7 学生・ポスドク会員：31 購読・賛助会員：38 合計：242
北陸支部 支部長：関 平和	〒921-8836 野々市市末松 1-308 石川県立大学生物資源環境学部皆 巳幸也 yumin@ishikawa-pu.ac.jp Tel: 076-227-7476	・支部大会（研究発表，講演会，総会）：2015 年 11 月，富山県において開催の予定 ・「日本農業気象学会北陸支部会誌」第 40 号発行予定	正会員：11 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：0 購読会員：4 合計：16
東海支部 支部長：鈴木克己	〒438-0803 磐田市富丘 678-1 静岡県農林技術研究所 経営生産シ ステム科 大須賀隆司 ryuji1_ohsuka@pref.shizuoka.lg.jp Tel: 0538-36-1551	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2015年12月初旬に三重県にて開催予定 ・「東海支部会誌」第73号発行予定	正会員：35 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：3 購読会員：4 合計：43
近畿支部 支部長：北宅善昭	〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学生命環境科学研究科 青野靖之 aono@envi.osakafu-u.ac.jp Tel: 072-254-9431	・支部大会（一般研究発表，総会，シンポジウム）：2015 年 11 月または 12 月，大阪工業大学（予定） ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第 8 号発行予定	正会員：38 シルバー会員：5 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：9 合計：57
中国・四国支部 支部長：大上博基	〒790-8566 松山市樽味 3-5-7 愛媛大学農学部 地域環境工学コー ス 佐藤嘉展 sato@agr.ehime-u.ac.jp Tel: 089-946-9882	・支部大会（研究発表，総会）：2015 年 12 月，近畿中国四国農業研究センター四国センター（予定） ・「中国・四国の農業気象」第 28 号発行予定	正会員：43 シルバー会員：3 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：7 合計：58
九州支部 支部長：北野雅治	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学農学研究院環境農学部門 脇水健次 wakimizu@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-642-3095	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2015 年 11 月，沖縄県中頭郡西原町（琉球大学農学部）で開催予定 ・「九州の農業気象第Ⅱ輯」第 24 号発行予定	正会員：35 シルバー会員：5 学生・ポスドク会員：3 購読・賛助会員：16 合計：59

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	日本農業気象学会関東支部 2015 年度例会を共催する。
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	日本農業気象学会 2015 年全国大会においてオーガナイズドセッション「園芸工学研究への LED 利用 Part II」を開催予定
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	2014 年全国大会に開催した研究会の報告を「生物と気象に」掲載予定。農業気象災害リスクに対するリーディングタイムについて引き続き検討予定。
若手研究者の会	〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平 4 農研機構東北農業研究センター 生産環境研究領域農業気象グループ 熊谷悦史 Tel: 019-643-3594, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	・日本農業気象学会2015年全国大会において、若手研究者向けの研究集会「農学研究におけるゲノム情報の利用：農業気象学とゲノム情報の接点」を開催予定 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動

2.6 2015年度一般会計予算(案)

2015年度一般会計予算(案)

1・収入

科目	予算	備考
学会費	5,026,000 ※1	
正会員	3,485,000	¥8,500*410名
シルバー会員	125,000	¥5,000*25名
学生・ポスドク会員	224,000	¥4,000*56名
購読会員	592,000	¥8,000*74名
賛助会員	600,000	¥30,000*20名
売上金	1,790,000	
養賢堂(含む書店)	280,000	
掲載料・別刷・超過頁等	1,500,000 ※2	
バックナンバー	10,000	
雑益費	57,000	
利息	5,000	
複写権料等	52,000	複写権料他
その他	0	
前年度繰越金	1,450,090	
単年度合計	6,873,000	
合計	8,323,090	

※ 1. 2014年12月現在会員数を参照

※ 2. Journal of Agricultural Meteorology掲載料等変更

※ 3. 農業気象(Journal of Agricultural Meteorology)は25報程度、
生物と気象は10報程度とし、前年度支出を参考とした

※ 4. 消費税増税分を増額

収入合計	8,323,090
支出合計	8,323,090
単年度収支差異	0

2・支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	5,024,000 ※3	
印刷・製本・別刷り費	2,500,000	Journal of Agricultural Meteorology Vol.71(1)-(4)
発送費	270,000	
編集費	850,000	(養賢堂分)
編集委員会	530,000	旅費(事務費3万含);査読者謝礼, J-stage負担金
電子ジャーナル		
組み版・レイアウト	704,000	「生物と気象」
編集費	170,000	(養賢堂)
総大会費	400,000	
大会運営費	400,000	
学会賞費	100,000	賞牌作成費、受賞者懇親会費
名誉会員表彰	100,000	交通費・懇親会費など
会計業務委託費	1,260,000 ※4	
会員業務	500,000	会員管理(¥560*760)、発送等手数料
会計業務	260,000	会計業務(月額¥20000*12)他
受付業務	200,000	窓口業務(月額¥15000*12)
その他業務	300,000	議事録、選挙関連等その他委託業務
ホームページ運営費	75,000	レンタルサーバー、ドメイン管理費
理事会開催費	500,000	理事会旅費
庶務理事経費	55,000	
会計理事経費	65,000	(振込手数料・ファクシミリ手数料含)
支部補助費	400,000	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
園芸工学研究部会	0	
農業気象リスクマネジメント研究部会	0	
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	10万円x1名
関連団体分担金	160,000	
日本地球惑星科学連合	10,000	
日本農学会費	80,000	
日本農業工学会費	70,000	
単年度支出	8,289,000	
予備費	34,090	
合計	8,323,090	